

平成31年度 特別会計予算

**国保厳しい収支見込みにより
今年度も6千万円の法定外繰入れを**

●国民健康保険事業

総額は18億8487万円。前年度比で3935万円、2・0%の減額。主な要因は、国民健康保険事業納付金が医療費の伸びにより増額となるもの、財政調整基金積立金が平成30年度決算見込による減額によるもの。

新制度移行の2年目と

可決(全員)

なるが、被保険者の減少、前期高齢者の増加、医療の高度化などから、今後の収支見通しが大変厳しい可能性があるが、昨年度に引き続き、事業運営支援として一般会計から6千万円の法定外繰入れを行うこととした。

可決(全員)

●情報センター事業

総額は2億7435万円。昨年度と同様の予算。

可決(多数)

Q 藤本 岩義議員

公債費の町債償還元利が1億3600万円余りあるが、実質、町の負担がどのくらいか。

A 徳廣 情報防災課長

特別交付税措置として、1億372万円が交付され、これから一般繰入金等を差し引くと5393万円が自主負担になる。

●住宅新築資金等貸付事業

総額は300万円。前年度比で30万円、9・2%の減額。主な要因は、公債費、及び現年度貸付金の償還が進んだこと。

可決(全員)

●後期高齢者医療保険事業

総額は2億931万円。前年度比で826万円、4・1%の増額。主な要因は、担当職員の人件費の計上と、後期高齢者医療広域連合納付金などの増によるもの。

可決(全員)

町の重点施策で 健康寿命延伸を

●介護保険事業

総額を17億501万円。前年度比で4627万円、2・8%の増額。主な要因は、保険給付費が前年度の実績見込み額と併せて、10月からの消費税率のアップ分の計上によるもの。

可決(全員)

●給与等集中処理

総額は15億6060万円。昨年度と同様の予算となっている。

可決(全員)

●国民健康保険直診

総額は8438万円。前年度と同様の予算。

可決(全員)

●介護サービス事業

総額は1801万円。前年度比で73万円、4・2%の増額で、前年度と同様の予算。

可決(全員)

●宮川奨学資金

総額は1944万円。前年度比で104万円、5・6%の増額。主な要因は、貸付金戻入増に伴う基金積立金の増。

可決(全員)

●農業集落排水事業

総額は3769万円。昨年と同様の予算。

可決(全員)

●漁業集落排水事業

総額は540万円。昨年と同様の予算。

可決(全員)

●水道事業

総額は2億6685万円。

主な工事は、施設の整備、改良として、昨年度に引き続き、佐賀簡易水道の配水管の更新と耐震化、また、国道56号大方改良事業に合わせて行なう上水道基幹配水管の布設工事。

可決(全員)



特定健診の一コマ (湊川ふれあいセンター)



常勤医師の早期着任が待たれる拳ノ川診療所